Engineer プラットフォーム

端末で読むEngineer

コマンドラインからengineer.companyを読む方法をご案内します。HTTPのMarkdown、Gemini、Gopher、Onionサービスの四つの入り口があります。

このサイトは、一台のサーバーの一つのフォルダーにあるファイルを、四つのプロトコルで提供しています。端末を中心に使う方は、ブラウザーを開かずにお読みいただけます。

以下の公開サイトの形式は、アカウントや鍵、自分でビルドしたクライアントなしで読めます。ソースリポジトリは非公開です。アクセスの条件はSSHの節で説明しています。

ブラウザーの外へ届ける

画面表示のあるブラウザーを使わない人やツールにも、有用な情報を届けましょう。

サービスを見る お問い合わせ →

テキストインターフェースを確かめる

一つのソースを複数のクライアントに届ける例として、このサイトのテキストインターフェースをご覧ください。

事例 お問い合わせ →

すべてのページにMarkdown版もあります

各ページはHTML版で提供し、その隣に整ったMarkdown版も用意しています。どちらでも取得できます。

```
# ファイル名を指定してMarkdown版を取得
curl -sL https://engineer.company/ja/about/index.md

# AcceptヘッダーでMarkdown形式を指定
curl -sL -H 'Accept: text/markdown' https://engineer.company/ja/about/
```

お使いのMarkdown表示ツールに、パイプで渡してください。

```
curl -sL https://engineer.company/ja/portfolio/index.md | glow -
curl -sL https://engineer.company/ja/what-it-costs/index.md | bat -l md
```

他の言語も同じ仕組みです。`/da/about/index.md` 、 `/uk/about/index.md` から取得できます。

各ページのQRコードの横には、JSON、gemtext、Gopherメニューへのリンクもあります。`/ja/about/index.json` のJSONには、そのページのメタデータとMarkdownの本文が含まれます。`/ja/feed.json` は、それとは別のポートフォリオ用フィードです。`index.json` を直接指定してください。HTMLのURLへのリクエストに `Accept: application/json` ヘッダーを付けても、このJSONは選択されません。

PDFを表示を選ぶと、ページのPDFが新しいタブで開きます。**PDFをダウンロード**では、同じファイルをダウンロードできます。これらは、公開前にページの印刷レイアウトから生成する静的ファイルです。リンクはブラウザー標準の操作機能を使い、ブラウザーで実行するJavaScriptは追加しません。

Geminiカプセル

Geminiは、このサイトと同じ考え方を備えた小さなプロトコルです。TLS上でテキスト文書を提供し、スクリプトもCookieも、利用者を追跡するものもありません。このサイトの全ページは、gemtextでも提供しています。

```
gemini://engineer.company/
```

どのGeminiクライアントでも読めます。端末では**Amfora**、**Lagrange**、**Bombadillo**、ウインドウでは**Castor**や**Kristall**を使えます。Homebrewを使うMacでは、次のように開けます。

```
brew install amfora && amfora gemini://engineer.company/
```

本来のブラウザーを離れても **利用できるコンテンツは** それをつくったフレームワークよりも長く残ります。

システムも、データが資産であり、インターフェースは交換できるという同じ考え方でつくります。

Gopherホール

Gopherは1991年のメニュープロトコルです。暗号化やスクリプトのない単純なTCPを使います。このサイトは、ディレクトリごとに一つのメニューとして提供されます。

```
gopher://engineer.company/
```

Lynxはそのまま対応しており、**Bombadillo**と**gopher-cli**も利用できます。手動でセレクターを要求することもできます。これがプロトコルの全体を一行で表したものです。

```
printf '/ja/contact\r\n' | nc engineer.company 70
```

Onionサービス

利用するネットワークに何を読んでいるか知られたくない方のために、同じサイトをTorでも提供しています。

```
http://engineer2ezpeji52ipphljcflzyhetvy5r6tnqubtq45nzlxxv6rsqd.onion/
```

意図的に単なる `http://` を使っています。Onionアドレスには、サービスの識別用公開鍵が符号化されています。HTTPをやり取りする前に、Torがサービスを認証し、接続を暗号化します。ローカルでTorが動いていれば、 `curl` で直接取得できます。

```
ONION=engineer2ezpeji52ipphljcflzyhetvy5r6tnqubtq45nzlxxv6rsqd.onion
curl -sL --socks5-hostname 127.0.0.1:9050 "http://$ONION/ja/index.md"
```

実績をデータとして読む

実績は三つのフィード形式で配信しています。いずれも抜粋ではなく、各項目の全文を含みます。

```
curl -s https://engineer.company/ja/feed.json | jq -r '.items[] | .title'
curl -s https://engineer.company/ja/index.xml     # RSS
curl -s https://engineer.company/ja/atom.xml      # Atom
```

また、クロールではなく読み取りを行うもののために、サイト自身の案内も用意しています。

```
curl -s https://engineer.company/ja/llms.txt
curl -s https://engineer.company/humans.txt
curl -s https://engineer.company/.well-known/security.txt
```

SSHでソースを読む

このサイトのソースは、自社のGitサーバーの非公開リポジトリで管理しています。アクセスを許可された方は、承認済みのSSH鍵を使ってSSH経由で閲覧できます。

```
ssh git.engineer.company
```

このコマンドでサーバーの画面を開きます。閲覧できるリポジトリは、SSH鍵に与えられた権限によって異なります。git.engineer.companyの公開ページは、サービスを説明するもので、リポジトリの内容を公開するものではありません。

こうした入り口を用意する理由

一度のデプロイで一つのフォルダーを書き出し、四つの入り口がそれを読みます。内容が互いにずれることも、別々に保守するサイトのコピーになることもありません。gemtextで読みやすいページには、見た目だけではない本物の構造があります。同じ性質が、スクリーンリーダーでの読みやすさと、紙への正しい印刷にもつながります。それぞれを提供するデーモンは、クレジットに記載しています。

ブラウザーなしでも読みやすいものをつくるのは、通常、それが適切につくられた証拠だからです。構築をご相談ください。

一度のデプロイで **四つの入り口** — 内容が互いにずれることはありません。

ブラウザーなしでも正しく読めるページには、確かな構造があります。

同様のサイトの構築を相談する 提供するサービス →

クライアントとその要件を明らかにする

利用者が必要とする情報と、それを利用するクライアントから考えましょう。

料金を見る お問い合わせ →

使いやすいテキストインターフェースを依頼する

お客様のシステムでも利用できる、安定したテキスト出力やインターフェースについてお尋ねください。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/cli/